

豊中十三中 進路だより

2026.7.7 <<進路指導委員会発行>>

●第1回進路希望調査に書かれていた事から。

第1回進路希望調査の提出、ありがとうございました。具体的な高校名を書いて下さった方もいましたが、「まだ悩んでいる」「どうやって決めれば良いか？」等を書かれた方も多くいましたので、以前に大阪府教育庁の指導主事から聞いた話を紹介します。参考にしてください。

「夏休み中には、多くの公立高校・私立高校が一堂に集まるイベントが開催されます。」

「生徒や保護者の皆さんには、そういうところに足を運んでもらい、複数の高校の先生方と直接話をしてほしいですね。」

「高校の先生から話を聞いて、この高校は『子どもさんに向いている／向いていない』等をご家庭で考え、2学期以降は実際に各高校のオープンスクールや説明会に行ってください。」



そういった合同説明会に行き、興味のある色々な高校の先生に、例えば「◎◎クラブの活動は盛んですか？週に何回練習していますか？」「進学実績は？」「どんな制服ですか？」等を直接聞いて「候補」を考えるのがベストです。

●夏休み中に『複数の高校』があつまるイベントや合同説明会(予定)

前回に続いて、今年の夏休み中に『複数の高校等が集まる合同説明会』を紹介します。他にも、兵庫県の全私立高校が集まる合同説明会などもありますから、興味のある人はWEBで調べて下さい。

- 公立高校進学フェア2027・・・7月26日(日) インテックス大阪 *7/13(月)から予約開始
- 大阪府私学展・・・8月15日(土),16日(日) 天満橋OMM2階 *予約不要
- 高等専修学校『合同説明会』・・・8月22日(土) 大阪私学会館4階 *予約不要

●重要・・・英検の受験をお考えの方へ

今年4月から、英語検定(*いわゆる英検)を受験する場合は『顔写真付き身分証明書』が必要になりました。十三中の生徒証明書には顔写真を貼る欄がないため、進路担当から「本校の生徒証には顔写真を貼る欄・スペースがないので、在学証明書などで代替えができませんか？」等を英検協会に何度か問い合わせました。

結果的に、英検協会からの回答は以下の通りでした。

お問い合わせの件ですが、2026年度第1回検定より、「英検(従来型)」「(一次本会場/二次本会場)」「英検 S-CBT」「英検 S-Interview」について試験の公平性および厳格性をさらに確保するため、本会場での1級から3級の受験者は、試験当日に「協会が定める顔写真付き身分証明書」の原本提示が必須となります。恐れ入りますが、各自ご用意いただき、試験当日にご持参ください。

なお、協会が定める「顔写真付き身分証明書」は以下の通りです。

学生証・生徒手帳・運転免許証・パスポート

マイナンバーカード・在留カード・特別永住者証明書・障害者手帳

※いずれも原本・有効期限内のもの

在学証明書は各校独自形式での在学証明書が提出された場合、本物が偽造かの判断を会場で行うことの難しさ等から弊協会が定める顔写真付き身分証明書に該当しないため、学校印やプレス加工があったとしても認められません。

したがって、英検の受験をお考えの方は、早めに各ご家庭で・・・

➡パスポートまたはマイナンバーカードを取得して下さい。

※特別な事情等で上記の取得が難しい場合のみ、担任か進路担当にご相談下さい。

●進路希望調査に記入して下さった質問への回答(抜粋)

紙面スペースの都合上、全ての質問と回答を掲載できません。今回と次号で抜粋して回答します。

Q1: ◎◎クラブが有名(活発な/強い)な高校へ行きたいが、どの高校が良いですか？

クラブ活動の「有名・活発・強い」は、人それぞれ基準が異なると思います。

「大阪府の大会でベスト8以上なら強い」「部員が100人以上いて、週5回以上練習しているなら活発」等の具体のお考えがあるなら、この紙面の左側に書いた『合同説明会』に行って、高校の先生方に直接尋ねて下さい。「◎◎クラブはあるが、部員が殆どいないので休部状態です。」「府大会で毎年3位以上に入っているのに、休みは殆どありません。」等の具体的な話が聞けます。

Q2: 自宅から自転車で、30分程度で通える高校を探しているのですが？

自宅から希望する高校までの距離・時間・交通費は、進路を考える上での大切な要素の一つなので、まずはGoogle・Yahoo等のマップで「自転車で」「電車・バスで」の通学時間や交通費を検索されてはどうでしょうか？

ただし、公立高校・私立高校の中には「駐輪スペースが狭いので、高校から自宅まで●キロ以上なら、自転車通学を認める」「最寄り駅から高校までの歩道(又は車道)が狭いので、自転車通学は一切認めていない」という高校がありますので、この通信の1枚目左側にある合同説明会で詳しく聞いて下さい。



Q3:看護・体育・音楽等の専門コースがある高校へ進学したい。

全ての私立高校・公立高校には『●●科』が必ずあり、中には『●●科△△コース』という形で示す高校もあります。『●●科』と『△△コース』の違いは「学ぶ教科の時間数」です。例えば『看護科や体育科』なら、高2～高3の授業の約半分は看護・体育の授業ですが、『看護コースや体育コース』なら高2～高3で1週間に約4～6時間の専門的な授業が行われます。

「希望する高校には△△コースがあるか?」は、この通信の1枚目左側にある合同説明会に行って詳しく聞いて下さい。

コースよりも専門的な学びができる『●●科』に入学した場合のメリットは「より深く専門的な学びができる」事ですが、デメリットは「入学してから『自分に合っていない』ことに気付いても、独特なカリキュラムのため、他の学科に変わらない」事です。

例えば、箕面高校のグローバル科や千里高校の総合科学科に入学した場合、入学後に「自分には合っていないから、箕面高校(普通科)や千里高校(国際文化科)に変わりたい。」と考えても、それは一切認められません。

希望する高校にどんな学科やコースがあるか?は、説明会等でしっかり聞いておいて下さい。

Q4:大阪府以外の高校を受験する際の注意点があれば教えてください。

大阪府以外にある私立高校なら、特に出願するときの条件等はありませんので、注意していただく事はありません。

しかし、大阪府以外にある公立高校の場合、基本的には「その都道府県に住んでいる/大阪から転居する予定」でなければ出願自体ができません。ただ、そういった居住条件がない場合や『他府県からの特別な受け入れ枠を設定している高校』なら出願は可能です。

他府県にある高校の受験をお考えの場合、昨年度の入試要項を各ご家庭でチェックしていただき『出願条件』を必ず確認して下さい。その上で「受験をする場合」は、大阪の入試スケジュールとは異なる場合が殆どですから、中学校が書類等を用意するスケジュールを教えてください。

中学校が日本全国の入試スケジュール等を確認する事はできない、という事をご理解下さい。

Q5:子どもの偏差値は教えてもらえますか?

文科省や大阪府教育庁から「偏差値などによる進路指導は行わないように。」という指示があり、どの中学校でも算出はしていません。「◎◎高校の偏差値を教えてください。」という質問も聞きますが、各高校が「自分の高校の偏差値」を算出することはないので、よくWEB上に載っている「◎◎高校の偏差値は～」は信憑性がある数字とはあまり思えません。

今回の懇談では、そういった『数字』より、まずは「子どもとお家の方の意向・希望」「子どもさんの適切や将来の希望」等についてしっかりとご家庭で話をされ、その結果を担任へ伝えていただき、担任からアドバイスをするという懇談にしてほしいと考えています。



Q6:授業料無償化の影響で、私立高校への入学が厳しくなるのでは?

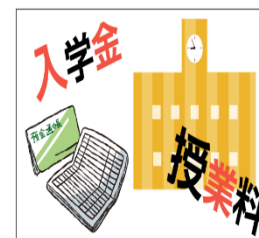
今年4月に高校等へ入学した生徒から、公立・私立高校では授業料が完全に無償になった事はご存知だと思います。その影響と思いますが、今年2月の府内全体の進路希望調査結果では、私立高校専願率の府内平均は40%を超え、過去最高の割合になりました。

ご心配の「私立高校への入学が厳しくなるのでは?」ですが、私立高校の場合は募集定員よりも多くの合格者を出します。例えば、十三中の近隣にある箕面自由学園高校HPにある『2025年2月の入試結果』を紹介すると...

■募集定員(5コース合計)=560人、専願(出願)=418人/併願(出願)=1686人

→合格=(専願)408人/(併願)=1679人 →入学=(専願)408人/(併願)246人

という結果で、募集定員合計の560人より約100人多く入学しました。



私立高校の場合、併願受験者がいる関係で募集定員を超えても合格者を出して構わないので、授業料が無償化になって私立高校への希望者が増えたとしても、急に「入学が難しくなる」事は考えにくいですが、高校の校舎キャパの関係で「入試問題の難易度を上げる」「募集定員を減らす」事は有り得ると思います。

◎紙面の都合上、今回の進路だよりで紹介できなかったご質問・回答は、次号で紹介します。